

第1回 16郡市PTA連携懇談会（教育課題の部）

活動支援委員会

R4.6.15

<テーマ>

地域と共にある学校 学校との連携、協働のあり方

<背景>

昨今、少子高齢化や地域のつながりの減少による地域の教育力の低下や、発達障害や貧困といった福祉的な課題の増加などを背景に、学校が抱える課題が複雑化・多様化するなか、学校だけではなく、社会全体で子どもの育ちを支えていくことが求められています。

一方で、グローバル化、人工知能の進化などにより、変化が激しく予測困難な未来が来ることが予想されています。現在ある仕事の多くが十年後、二十年後には消滅し、子どもたちの半数近くが現在存在していない職業に就くことになり、学校で教えていることが将来の社会で通用しないのではないかといった指摘がされています。2020年からの新学習指導要領では、「よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創る」という理念を学校と社会が共有し社会と連携・協働しながら未来の創り手となるために必要な資質・能力を育む「社会に開かれた教育課程」の実現を重視し、その理念を前文に明示しています。

この理念の実現に向けては、組織的・継続的に**地域と学校が連携・協働**していくことが大変重要といえます。しかし、現状を見るとコロナ禍において、様々な教育活動が制限されたり、教育の情報化などの急速な教育環境の変化により先生方の多忙感が増したりする状況にあります。

そこで、私たちの子どもたちが通う学校の保護者として、PTA活動を通して学校との連携、協働を進めていきたいと思います。誰かが何とかしてくれるのではなく、自分たち（保護者）が「当事者」として、自分たちの力で学校や地域を創り上げていきたいと思えます。私たちの愛する子どもたちの笑顔のために、チーム信州PTAとして取り組んでいきたいと思えます。

<懇談の進行の仕方>

これらを踏まえ、今回の16郡市PTA連携懇談会（教育課題の部）では、「**地域と共にある学校 学校との連携、協働のあり方**」と題し、

話し合い1 先ずは学校との連携の現状について出し合ってください。

話し合い2

次の観点から**番号をお選びいただき、ご意見をA4の紙に書いて発表**してください。

1 子どもたちのゲーム機の利用や、ゲーム機以外のパソコンや携帯電話・スマートフォンなども含めたインターネットの利用について、学校と家庭などで連携して対応するためのアイデアを考えたいと思います。

2、運動する子どもと、ほとんど運動しない子どもに分かれるという二極化現象が進行に對しいると言われています。子どもたちが運動習慣を身に付けるために、学校や地域、家庭で行えるアイデアを考えたいと思います。

3、各学校のPTAにおいて、様々な場面で学校への支援ボランティアを保護者が担うなどの活動が見られるようになっていきます。その好事例や今後取り組みたいことなどを考えたいと思います。

4、小学校や中学校の部活動を学校単位の活動から地域単位の活動に移行するための検討が急ピッチで進んでいます。保護者として、学校と連携できる方策を考えたいと思います。

最後に

話し合い3

自分たちの**学校や地域を上げるために、当事者意識を高める**ためにはどのようなことが必要かについて自由に出し合い、懇談のまとめとしたいと思います。

<懇談会の進め方>

懇談会の進め方については、次第をご覧ください。

各グループで懇談内容についてポイントを絞り、主に課題に対する**対策案を中心に3分以内**で発表していただきます。

また、今回は十分に時間を取れずに申し訳ありませんでした。

本日の話し合いも参考にいただき、**グーグルフォームへの記入**のご協力をお願いいたします。

